

佐労発基 1212 第1号  
令和6年 12月 13日

一般社団法人佐賀県労働基準協会  
会長 戸上 信一 殿

佐賀労働局長



年末年始における労働災害防止に向けた取組について（要請）

労働行政の推進につきましては、平素より格別の御理解御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

佐賀労働局におきましては、第14次労働災害防止計画（計画期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日）に基づき、各種安全衛生活動に取り組む事業場の増加を図るほか、労働災害が増加傾向にある業種を重点業種として集中的な取組を行うなど、労働災害の減少に向けた各種施策を推進しているところです。

しかしながら、当局管内の令和6年における労働災害の発生状況は、11月末現在の速報値において、休業4日以上死傷者数（コロナウイルスによるり患を除く。）は1,149人（前年同期比61人、5.6%増加）、死亡者数は8人（前年同期比同数）と労働災害件数が前年同期より増加したほか、死亡災害が高止まりしており、災害防止に向けた対策を講じることが、必要となっています。

このような状況から、更なる労働災害防止の取組が求められており、特に年末年始はこの時期特有の業務の増大、年末の大掃除や機械設備の保守点検、突発的な作業などの非定常時作業が多くなることから、転倒、墜落・転落等による労働災害のリスクが大きくなることが危惧されています。

災害ゼロを目指して労働災害防止の取組を徹底していくため、別紙の「令和6年度 年末年始における労働災害防止に向けた取組」を効果的に展開されますよう要請します。

貴団体におかれましては、本取組の趣旨について御理解をいただき、傘下の会員事業者等に対し取組の周知に御協力いただきますようお願い申し上げます。

## 令和6年度 年末年始における労働災害防止に向けた取組

### 1 安全衛生管理体制に関する事項

- (1) 経営トップによる安全衛生方針の決意表明と安全衛生パトロール等の実施
- (2) 安全管理者、衛生管理者、産業医、安全衛生推進者等の選任と職務の確実な遂行
- (3) 5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）活動、KY（危険予知）活動、リスクアセスメントの取組などの自主的安全衛生管理活動の促進

### 2 労働災害防止対策に関する事項

- (1) 転倒災害防止対策の実施、点検・確認
- (2) 墜落・転落災害防止対策の実施、点検・確認
- (3) 「高年齢労働者の安全と健康確保のガイドライン」（エイジフレンドリーガイドライン）に基づく、安全衛生教育及び安全・健康に配慮した職場環境の改善
- (4) 職場内の各種機械設備の点検と作業手順書、作業マニュアル等の理解・順守徹底
- (5) 機械による「はさまれ・巻き込まれ」等の災害防止対策、作業開始前点検の実施
- (6) 交通労働災害防止対策の実施
- (7) 腰痛予防対策の実施
- (8) 安全保護具・労働衛生保護具、安全標識・表示等の点検整備
- (9) 火気の点検・確認など火気管理の徹底

### 3 健康確保対策に関する事項

- (1) 健康診断の確実な実施及びその結果に基づく適切な事後措置の徹底
- (2) メンタルヘルスケアの積極的な推進
- (3) 過重労働防止のための職場環境づくり
- (4) 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染症予防対策の実施

### 4 その他の事項

- (1) ポスター<sup>注1</sup>の掲示、「見える化」<sup>注2</sup>を図った安全衛生活動の促進
- (2) スローガン<sup>注3</sup>を掲げての労働災害防止活動の推進等

(注1) 佐賀労働局 HP ([https://jsite.mhlw.go.jp/saga-roudoukyoku/newpage\\_00639.html](https://jsite.mhlw.go.jp/saga-roudoukyoku/newpage_00639.html)) からポスター（サンプル）のフォーマットの利用可（参考）

QRコード⇒



(注2) 視覚的に捉えられないものを可視化（見える化）して安全衛生意識を高める取組

(注3) 【参考】中央労働災害防止協会 令和6年度年末年始無災害運動標語

『今年もやります！ 基本作業の徹底 年末年始も無災害』

令和6年 業種別署別労働災害発生状況（11月末累計）

（コロナ感染症によるものを除く。）

令和6年12月集計

業種	佐賀署						唐津署						武雄署						伊万里署						局計					
	当 年 死 亡	当 年 死 傷	前 年 死 亡	前 年 死 傷	対 前 年 比	増 減 率 %	当 年 死 亡	当 年 死 傷	前 年 死 亡	前 年 死 傷	対 前 年 比	増 減 率 %	当 年 死 亡	当 年 死 傷	前 年 死 亡	前 年 死 傷	対 前 年 比	増 減 率 %	当 年 死 亡	当 年 死 傷	前 年 死 亡	前 年 死 傷	対 前 年 比	増 減 率 %	当 年 死 亡	当 年 死 傷	前 年 死 亡	前 年 死 傷	対 前 年 比	増 減 率 %
01 食料品製造	73	166	66	7	10.6%		18	19	-1	-5.3%		15	13	2	15.4%		7	7	0%	113	1	105	8	7.6%						
02 繊維工業			3	-3	-100.0%							1		1						1		3	-2	-66.7%						
03 衣服その他の繊維	1	2		2															1	2		2								
04 木材・木製品		4	4		0%							1	1		0%		3	1	2	200.0%	8	6	2	33.3%						
05 家具・装備品		2		2								1		1						3		3								
06 パルプ等		12	8	4	50.0%												1	-1	-100.0%	12	9	3	33.3%							
07 印刷・製本		2	1	1	100.0%															2	1	1	100.0%							
08 化学工業	1	13	17	-4	-23.5%	3	3				0%						1		1		17	1	20	-3	-15.0%					
09 窯業土石		4	8	-4	-50.0%	2		2				4	3	1	33.3%		9	4	5	125.0%	19	15	4	26.7%						
10 鉄鋼業		7	5	2	40.0%							1	2	-1	-50.0%					8	7	1	14.3%							
11 非鉄金属		1		1																1		1								
12 金属製品		12	14	-2	-14.3%	1		1				2	6	-4	-66.7%		6	6	0%	21	26	-5	-19.2%							
13 一般機械器具		4	6	-2	-33.3%							5	1	4	400.0%		3	1	2	1	12	9	3	33.3%						
14 電気機械器具	1	4	4		0%			1	-1	-100.0%		1	4	-3	-75.0%		2	3	-1	-33.3%	1	7	12	-5	-41.7%					
15 輸送機械製造		9	9		0%	1	2	-1	-50.0%			1		1		1	8	19	-11	-57.9%	1	19	30	-11	-36.7%					
16 電気・ガス																														
17 その他の製造		19	21	-2	-9.5%	4	1	3	300.0%			5	2	3	150.0%		3		3		31	24	7	29.2%						
01 製造業	3	168	2	166	2	1.2%	29	26	3	11.5%		37	32	5	15.6%	1	42	1	43	-1	-2.3%	4	276	3	267	9	3.4%			
01 石炭鉱業																														
02 土石採取業		1	1		0%																1		1							
03 その他の鉱業								1	-1	-100.0%												1		-1	-100.0%					
02 鉱業		1	1		0%			1	-1	-100.0%											1		2	-1	-50.0%					
01 土木工事		18	1	23	-5	-21.7%	10	1	4	6	150.0%	10	1	13	-3	-23.1%	7	1	3	4	45	4	43	2	4.7%					
02 建築工事		28	35	-7	-20.0%	8	9	-1	-11.1%			17	19	-2	-10.5%	1	4	10	-6	-60.0%	1	57	73	-16	-21.9%					
03 その他の建設		18	14	4	28.6%	8	9	-1	-11.1%			5	6	-1	-16.7%		4	3	1	33.3%	35	32	3	9.4%						
03 建設業		64	1	72	-8	-11.1%	26	1	22	4	18.2%	32	1	38	-6	-15.8%	1	15	1	16	-1	-6.3%	1	137	4	148	-11	-7.4%		
01 鉄道等	2	2		2			1	1		0%										2	3	1	2	200.0%						
02 道路旅客		7	6	1	16.7%	1	1			0%							1	1		0%	9	8	1	12.5%						
03 道路貨物運送		87	84	3	3.6%	1	12	12		0%		9	10	-1	-10.0%		9	15	-6	-40.0%	1	117	121	-4	-3.3%					
04 その他の運輸交通																														
04 運輸交通業	2	96	90	6	6.7%	1	14	14		0%		9	10	-1	-10.0%		10	16	-6	-37.5%	3	129	130	-1	-0.8%					
01 陸上貨物		25	24	1	4.2%			1	-1	-100.0%											25	25		0%						
02 港湾運送業							1	1									1	3	-2	-66.7%	2	3	-1	-33.3%						
05 貨物取扱		25	24	1	4.2%	1	1			0%							1	3	-2	-66.7%	27	28	-1	-3.6%						
01 農業		1	5	-4	-80.0%		2	-2	-100.0%			3	1	2	200.0%		1		1		5	8	-3	-37.5%						
02 林業		4	6	-2	-33.3%	2	2			0%		2	-2	-100.0%			1	-1	-100.0%	6	11	-5	-45.5%							
06 農林業		5	11	-6	-54.5%	2	4	-2	-50.0%			3	3		0%		1	1		0%	11	19	-8	-42.1%						
01 畜産業		10	5	5	100.0%	6	3	3	100.0%			3	1	2	200.0%		1		1		20	9	11	122.2%						
02 水産業		3	1	2	200.0%	1	2	-1	-50.0%												4	3	1	33.3%						
03 畜産・水産業		13	6	7	116.7%	7	5	2	40.0%			3	1	2	200.0%		1		1		24	12	12	100.0%						
01 卸売業		9	20	-11	-55.0%	4	4			0%		8	10	-2	-20.0%		2	2		0%	23	36	-13	-36.1%						
02 小売業		68	56	12	21.4%	19	14	5	35.7%			22	1	20	2	10.0%		18	11	7	63.6%	127	1	101	26	25.7%				
03 理美容業			3	-3	-100.0%																	3	-3	-100.0%						
04 その他の商業		26	23	3	13.0%			1	-1	-100.0%		4	4				1	3	-2	-66.7%	31	27	4	14.8%						
08 商業		103	102	1	1.0%	23	19	4	21.1%			34	30	4	13.3%		21	16	5	31.3%	181	167	14	8.4%						
01 金融業		4	2	2	100.0%			1	-1	-100.0%		1		1							5	3	2	66.7%						
02 広告・あっせん																	1		1		1		1							
09 金融広告業		4	2	2	100.0%			1	-1	-100.0%		1		1			1		1		6	3	3	100.0%						
01 映画・演劇業																														
10 映画・演劇業																														
01 通信業		8	6	2	33.3%	2	3	-1	-33.3%			2	2		0%		2	1	1	100.0%	14	12	2	16.7%						
11 通信業		8	6	2	33.3%	2	3	-1	-33.3%			2	2		0%		2	1	1	100.0%	14	12	2	16.7%						
01 教育研究		5	10	-5	-50.0%	1	3	-2	-66.7%			2		2							8	13	-5	-38.5%						
12 教育研究		5	10	-5	-50.0%	1	3	-2	-66.7%			2		2							8	13	-5	-38.5%						
01 医療保健業		34	24	10	41.7%	1	4	-3	-75.0%			14	13	1	7.7%		5	1	4	400.0%	54	42	12	28.6%						
02 社会福祉施設		75	55	20	36.4%	12	12			0%		28	32	-4	-12.5%		9	8	1	12.5%	124	107	17	15.9%						
03 その他の保健衛生		1	4	-3	-75.0%							1		1				1	-1	-100.0%	2	5	-3	-60.0%						
13 保健衛生業		110	83	27	32.5%	13	16	-3	-18.8%			43	45	-2	-4.4%		14	10	4	40.0%	180	154	26	16.9%						
01 旅館業		12	7	5	71.4%	2	3	-1	-33.3%			6	7	-1	-14.3%						20	17	3	17.6%						
02 飲食店		17	24	-7	-29.2%	6	6			0%		7	4	3	75.0%		6	4	2	50.0%	36	38	-2	-5.3%						
03 その他の接客		3	4	-1	-25.0%	3	4	-1	-25.0%			4	2	2	100.0%		1	1		0%	11	11		0%						
14 接客娯楽		32	35	-3	-8.6%	11	13	-2	-15.4%			17	13	4	30.8%		7	5	2	40.0%	67	66	1	1.5%						
01 清掃・と畜		29	21	8	38.1%	7	5	2	40.0%			2	7	-5	-71.4%		2	2		0%	40	35	5	14.3%						
15 清掃・と畜		29	21	8	38.1%	7	5	2	40.0%			2	7	-5	-71.4%		2	2		0%	40	35	5	14.3%						
01 官公署													1	1		0%					1		1		0%					
16 官公署													1	1		0%					1		1		0%					
01 派遣業																														
02 その他の事業		36	23	13	56.5%	2	2			0%		4	4		0%		5	2	3	150.0%	47	31	16	51.6%						
17 その他の事業		36	23	13	56.5%	2	2			0%		4	4		0%		5	2	3	150.0%	47	31	16	51.6%						
合 計	5	699	3	652	47	7.2%	1	138	1	135	3	2.2%	190	2	186	4	2.2%	2	122	2	115	7	6.1%	8	1,149	8	1,088	61	5.6%	
第三次産業計（運送業除く）	327	282	45	16.0%	59	62	-3	-4.8%	106	1	102	4	3.9%	52	36	16	44.4%				544	1	482	62	12.9%					
陸上貨物運送事業	112	108	4	3.7%	1	12	13	-1	-7.7%			9	10	-1	-10.0%		9	15	-6	-40.0%	1	142	146	-4	-2.7%					

# 佐賀県内における死亡労働災害の概要

令和6年10月31日現在

## 【令和6年】

番号	業種	管轄署	発生日 時刻	被災者 年齢	事故の型	起因物	発生状況
1	製造業	伊万里署	R6.1.15 14時45分頃	男 70歳代	はさまれ、巻き込まれ	その他の金属加工用機械	被災者は、工場内の鋼板を切断する機械のコンベアー操作盤付近の床面にうつ伏せの状態で見えられ、その後死亡が確認された。発見時の状況から、機械の付属部材と当該機械近くの構造物に挟まれたものと推測される。
2	製造業	佐賀署	R6.1.25 13時15分頃	男 40歳代	交通事故(道路)	トラック	国道バイパス道路において、被災者が運転する軽トラックが中央線をはみ出し、対向車線の中型トラックと正面衝突したものの。被災者は帰社途中であり、軽トラックに同乗者はいなかった。
3	建設業	伊万里署	R6.2.12 13時05分頃	男 60歳代	墜落・転落	解体用機械	建物解体工事において、被災者は建屋2階にて解体用つかみ機を運転して、解体材が入ったフレコンバッグの吊り輪を掴み、回転したところ、解体用つかみ機のバランスが崩れ、機体から投げ出され1階に墜落し、落下してきた解体用つかみ機の下敷きとなったもの。
4	製造業	佐賀署	R6.7.9 15時00分頃	男 50歳代	はさまれ、巻き込まれ	エレベータ、リフト	工場内において、被災者は電動ホイストにつり下げた鉄製の搬器をガイドレールに沿って昇降させる装置を使用し、生産機械の部品を1階に下す作業中、搬器上部フレームと、昇降路に接する2階の床面に頭部を挟まれた状態で発見された。(現在調査中)
5	運輸交通業	唐津署	R6.7.25 7時10分頃	男 60歳代	交通事故(道路)	トラック	片側1車線の県道において、被災者はダンプトラックを運転し作業場所へ向かう途中、下りの緩やかな右カーブで、左側のガードレール及び道路脇の立木に激突したものの。(現在調査中)
6	運輸交通業	佐賀署	R6.7.28 16時10分頃	男 50歳代	交通事故(その他)	その他の乗物	県外での業務を終え、ヘリコプターを操縦して帰社途中、墜落したものの。(現在調査中)
7	運輸交通業	佐賀署	R6.7.28 16時10分頃	男 70歳代	交通事故(その他)	その他の乗物	県外での業務を終え、ヘリコプターに同乗して帰社途中、墜落したものの。(現在調査中)
8	製造業	佐賀署	R6.10.28 12時30分頃	男 30歳代	はさまれ、巻き込まれ	混合機・粉砕機	被災者は、ボールミルを使用して硬質ボールの洗浄作業を一人で進めていた。その後休憩時間になっても被災者が見当たらないことから、工場内に捜しにきた同僚が、機械に右半身を巻き込まれた状態の被災者を発見した。(現在調査中)

※表中の業種、業務上外等については、未確定のものも記載している。

## 【令和5年】

番号	業種	管轄署	発生日 時刻	被災者 年齢	事故の型	起因物	発生状況
1	建設業	伊万里署	R5.3.9 3時20分頃	男 60歳代	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	道路工事のため片側交通規制を行っていた片側一車線の道路において、道路工事作業が終了したため、被災者はクッションドラム等の交通規制用具等を工事規制車両(トラック)に載せる作業を行っていたところ、被災者の後方から、交通誘導員の誘導を無視して現場内へ進入した乗用車に激突された。
2	製造業	伊万里署	R5.3.30 16時00分頃	男 50歳代	はさまれ、巻き込まれ	旋盤	被災者は、立旋盤を使用して、一人で金属部材の加工作業を行っていたが、その後、可動する立旋盤の構造部材と立旋盤と一体となった点検用足場の間に首を挟まれた状態で発見され、その後死亡が確認された。
3	建設業	唐津署	R5.5.22 10時15分頃	男 70歳代	転倒	整地・運搬・積み込み用機械	山間部道路の災害復旧工事現場において、ドラグショベルを使用してダンプトラックに積まれた土砂が入ったフレコンバッグを荷台から降ろす作業中、フレコンバッグを吊り上げ、回転していたところ、ドラグショベルが横転し、道路の路肩から転落した。ドラグショベルを運転していた被災者は、地面とドラグショベルにはさまれ被災した。
4	製造業	佐賀署	R5.6.22 2時00分頃	男 50歳代	有害物等との接触	有害物	塗料を製造する攪拌槽(容量700リットル)内において、被災者は攪拌羽根にひっかかった状態で発見され、その後死亡が確認された。(有機溶剤中毒)
5	建設業	武雄署	R5.8.10 14時15分頃	男 60歳代	はさまれ、巻き込まれ	整地・運搬・積み込み用機械	事業場の工場敷地内において、一人でトラクター・ショベルを運転してダンプトラックへの砂の積み込み作業を行っていた被災者が、ダンプトラックの助手席のドアとトラクター・ショベルの左後方ボンネットとの間に腹部が挟まれた状態で発見され、その後死亡が確認された。
6	建設業	佐賀署	R5.9.8 10時00分頃	男 50歳代	おぼれ	水	被災者が一人で肩掛式刈払機を使用して、法面勾配34度の農業用水路付近の除草作業を行っていたが、その後被災者が見当たらなくなったため捜索したところ、水路内でうつ伏せの状態で見つかった被災者が発見され、その場で死亡が確認された。刈払機は被災者の肩に掛けられた状態であった。後日、死因は溺死と判明した。
7	製造業	佐賀署	R5.9.19 13時00分頃	男 60歳代	激突され	フォークリフト	事業場敷地内において、荷受け作業中、被災者は搬入トラックからフォークリフトに積荷を移す作業の補助を行っていたが、その後、受付伝票を事務所まで渡しに行き、歩いて作業場所に戻る途中、方向転換し後退してきたフォークリフトにはねられてひかれた。
8	商業	武雄署	R5.11.22 3時00分頃	男 70歳代	墜落・転落	通路	一人で新聞配達を行っていた被災者が、道路と配達予定先である民家の間の地面で倒れ、死亡している状態で発見されたもの。 付近に被災者が使用していた自動車が発見されており、状況から道路の端から墜落したものと推測される。
9	運輸交通業	武雄署	R5.12.18 14時20分頃	男 60歳代	墜落・転落	トラック	配送先事業場敷地内において、4トンダンプトラックの運転手である被災者は当該ダンプトラックの荷台上で作業を行っていたが、被災者が荷台上で後ずさりをした際に、被災者の脚部が当該ダンプトラックのリア側のあおりに接触し、そのまま後ろ向きに約1.1メートル下の地面に墜落したものの。被災者は保護帽を着用していなかった。